HITACHI

株式会社 日立システムズ

生成AIは「使う」から「持つ」時代へ

～「自社専用AI基盤（コンテナ型データセンター）」の作り方～

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

Contents

１．日立システムズについて

２．生成AIを取り巻く環境と潮流/生成AI基盤

３．日立システムズ データセンター商材

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

Contents

1．日立システムズについて

1.1 会社紹介

1.2 会社特長

1.3 実績/資格

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

1.1 会社紹介

本社所在地

東京都品川区
大崎1-2-1

事業内容

システム構築事業/システム運用・監視・保守事業
ネットワークサービス事業/情報関連機器・ソフトウェアの販売と開発

株主

株式会社日立製作所
100%

設立

1962年
10月1日

資本金

19,162百万円

従業員数

10,520名
（2025年4月1日現在、単独）

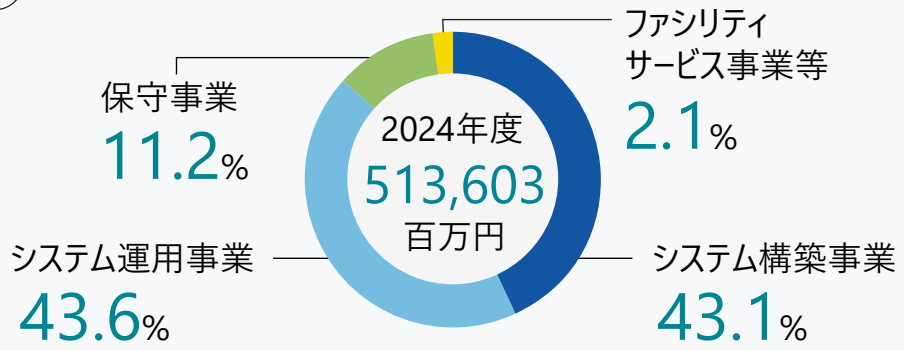
20,179名
（2025年4月1日現在、連結）

売上高

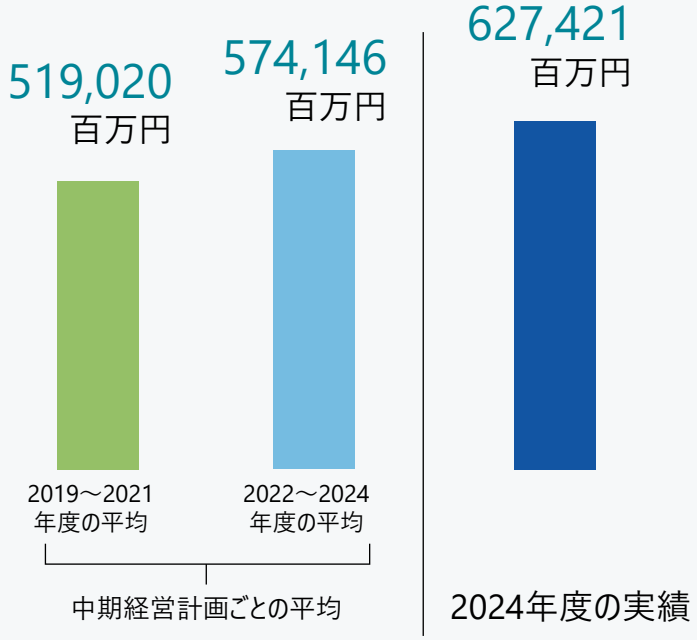
513,603百万円
（2024年度、単独）

627,421百万円
（2024年度、連結）

売上構成（単独）



売上推移（連結）



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

1.2 会社特長 −AX（AIトランスフォーメーション）

日立システムズは、公共・社会、金融、産業・流通の各分野で培ったドメインナレッジに基づき、お客さまの課題解決を支援します。
単なるAI導入にとどまらず真のDXをめざして、「人が業務をこなす時代から、人とAIが協働する時代への変革」を推進します。

■ AI導入に先立つ課題の整理からAI基盤の構築、運用と定着まで、お客さまのAI導入をサポート

1 課題の可視化・適用領域の特定 → 2 業務AIとAI基盤の構築 → 3 安全性とガバナンスの確立

生成AI導入コンサルティング	アシスタントAIシリーズ（業務ノウハウ × 生成AI）	生成AI伴走支援シリーズ
	生成AI基盤提供シリーズ（マネージドサービス × 生成AI）	

■ 日立AIアンバサダー

AIトランスフォーメーションをけん引する日立グループのエキスパートがAIアンバサダーです。
1,000件以上のユースケースから得た実践的な技術とナレッジを基盤に、社内外へ生成AIの価値と可能性を発信しています。



菊池　一也

仮想化事業・クラウド事業の立ち上げに貢献し、2023年から若手社員を中心とした製販一体の生成AI関連プロジェクトを推進してきた。
現在はサービス開発や事業展開を指揮している。



架谷　愛

Azureを活用したクラウドインフラ基盤の構築を経験後、2023年より生成AI事業に参画し、技術検証を実施。
現在は「製造業向けアシスタントAI」のアプリケーション開発リーダーとしてプロジェクトを推進。

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

1.2 会社特長 –データセンター–

大規模な建屋型データセンターと、お客さまのニーズに合わせてコンパクトに構築可能なコンテナ型データセンター。
One Hitachiでサービスを提供し、新規構築や既存データセンターの課題解決において、計画・設計・構築・運用のライフサイクル全般を支援します。

■ 建屋型データセンター

堅ろうな設備によりお客さまのITシステムの安定稼働をサポートするとともに、24時間365日の有人監視による強固なセキュリティ体制を確立しています。東日本・西日本それぞれにあるデータセンターで、アウトソーシングサービスを提供し、液冷にも対応した柔軟な運用環境を実現します。



■ コンテナ型データセンター

必要装備を一台のコンテナに集約し、短期間かつ低コストで構築。増設や移設も容易。サーバーの性能をフルに引き出すための電源／冷却設備などのIT環境設計も自社で行い、データセンターの企画から保守・運用までワンストップで対応します。



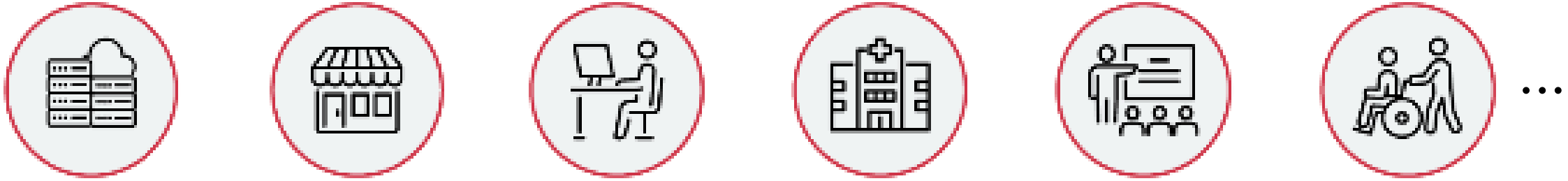
© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

1.2 会社特長 ーファシリティサービス

オフィスやデータセンターなどのIT機器関連インフラの提案、構築・設計、施工、運用・維持管理を中心にファシリティサービス事業を展開。
建設業法に基づく体制のもと、一級施工管理技士や一級建築士などの専門資格者を有し、重機を用いた工事やサーバールームを含むITインフラ設備など幅広く対応します。

■ 日立システムズのファシリティサービスのフィールド



工事の種類　電気／空調／LAN設備　工事　ビルマネジメントシステム設備工事

■ 日立システムズのファシリティサービスの特長

人財	一級施工管理技士や一級建築士をはじめとした多数の資格保有技術者
動員力	建設業法対応資格保持者による全国規模の体制
ナレッジ	電気・通信工事からEV充電器や太陽光パネル、蓄電池などのカーボンニュートラルのご提案とサービス提供



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

1.2 会社特長 −保守

全国約300拠点のサービス網と高い専門性を持つ人財により、ITをはじめ多様な分野で24時間365日体制の保守・運用サービスを提供。
人財・動員力・フィールドサポートを強みに、問題の予兆検知から障害対応まで一貫して支援します。

■ 日立システムズの保守フィールド

IT機器

サーバー／ストレージ	ネットワーク
ATM	金融営業店端末

OT機器

店舗 フィットネス機器、KIOSK端末	**工場・物流倉庫** マテリアルハンドリング設備、AGV*1
ロボティクス 搬送ロボット	**ライフライン** EV充電スタンド

＊1 自動搬送車（Automated Guided Vehicle）

■ 日立システムズの保守の特長

人財	グループ連結2,000名の技術者
動員力	国内約300か所のサービス拠点
ナレッジ	年間約60万件の対応で蓄積した保守ナレッジとAI活用で、安定稼働と早期復旧を両立

※2026年3月時点での数値



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

Contents

２． 生成AIを取り巻く環境と潮流/生成AI基盤

2.1 国内市場

2.2 AI導入の動向

2.3 企業の取り組み

2.4 AI導入の課題

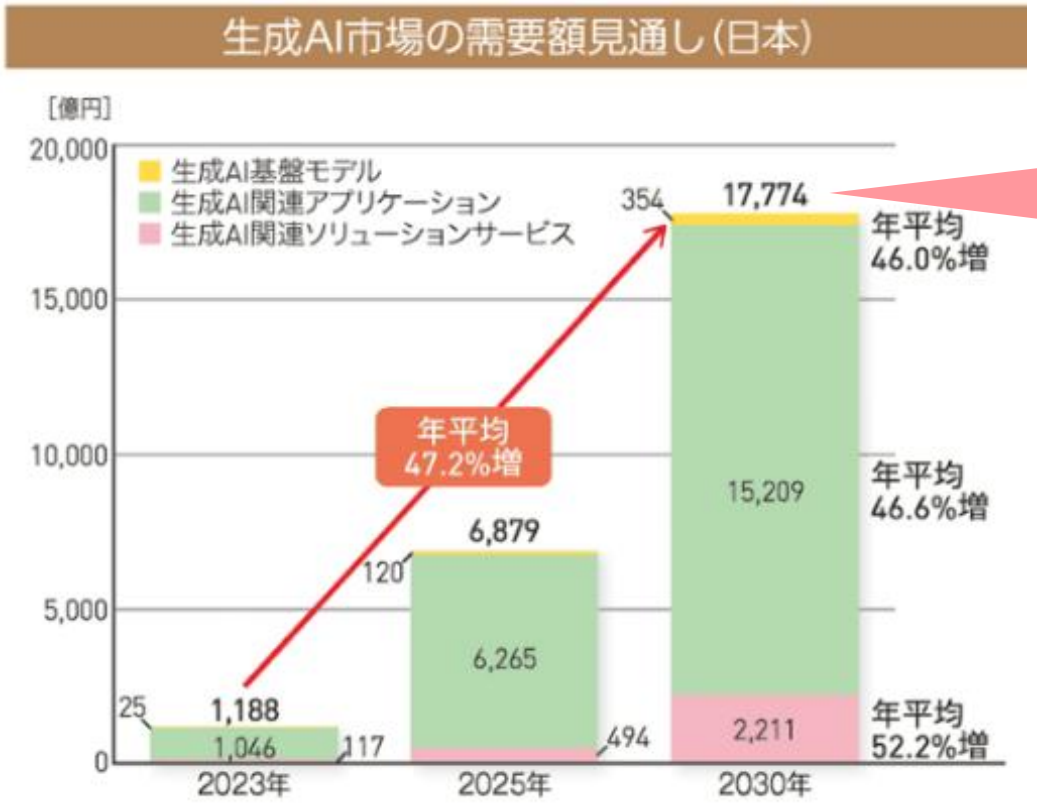
2.5 GPUの調達方式

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

2.1 国内市場

2030年までに企業はAI投資を加速させようとしている。
AIに関する実案件やニーズが一気に増えてくる。



2030年までに2兆円市場へ

出典元：一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
『注目分野に関する動向調査2023』

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

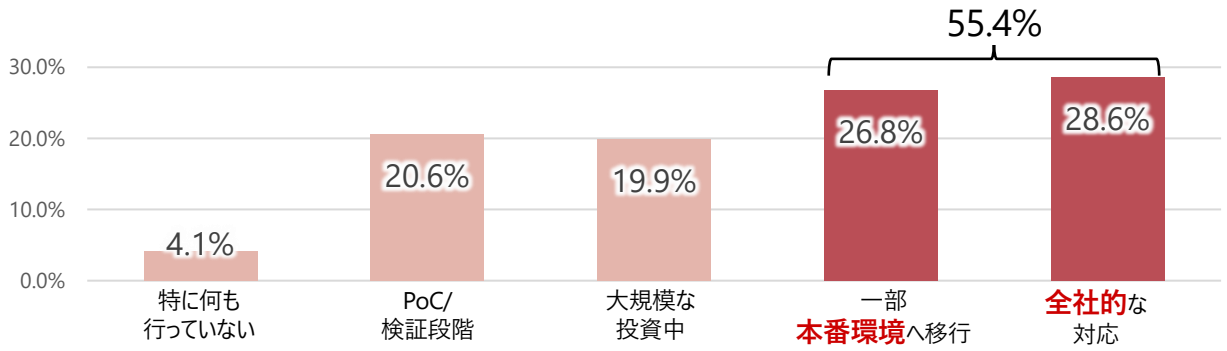
HITACHI

2.2 AI導入の動向

国内大企業では半数を超える企業が生成AIを導入、投資額も10億円以上

生成AIの利用状況 ※国内の従業員数1,000人以上の企業を対象にしたアンケート結果

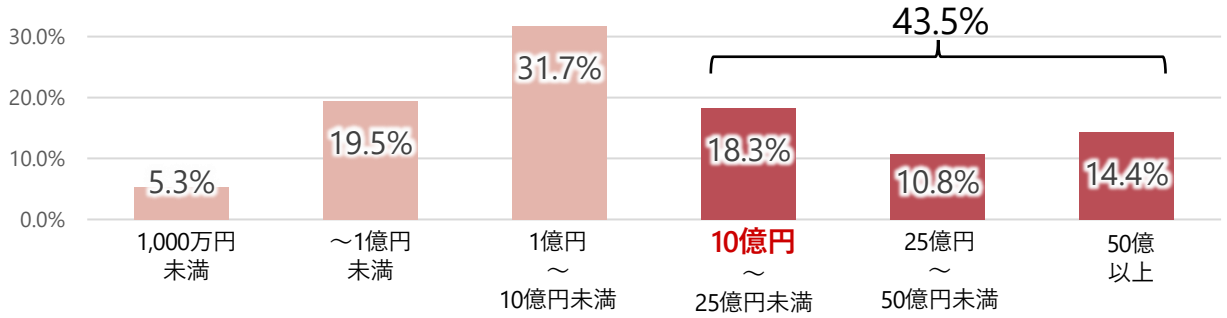
Q:お勤め先の生成AI利用状況について最も当てはまるものを1つ選択してください



国内の従業員数1,000人以上の大企業では、AIシステムを活用する企業の**55.4%が生成AIの本格導入と全社展開**を進め、事業プロセスへの組み込みが始まっている。

2025年度の投資総額(見込み) ※国内の従業員数1,000人以上の企業を対象にしたアンケート結果

Q:お勤め先の生成AI利用状況について最も当てはまるものを1つ選択してください



2025年度のAIシステム投資額は「1億円～10億円未満」が最も多いが、**10億円以上の企業も4割を超え**、AIは大企業にとって本格的な投資対象となっている。

出典：IDCデータセンター「2025年 国内AI市場 ユーザー調査」より

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

2.3 企業の取り組み

各業界ごとの課題に対し、AI推進の検討が進む

凡例 **AIへの期待** AI推進例

製造業



「設計・文書作成の効率化」「品質管理・予知保全」「技術継承」の品質向上や人材不足対応

- ・設計・製図の自動化
- ・外観検査(画像認識＋AI)
- ・予知保全(センサーデータ分析+故障予兆検知)
- ・熟練者暗黙知の形式知化(ベテラン技術者知識をAI学習+マニュアルや教育資料を生成)

インフラ（鉄道・ガス・電力）



「管理業務の効率化」「顧客サービスの高度化」「人材不足対策」の品質向上や人材不足対応

- ・運行管理やダイヤ最適化
- ・電力需給予測
- ・顧客問い合わせ対応の自動化
- ・保守業務の効率化(異常検知+予兆保全)
- ・技術者知識の形式知化

ヘルスケア・医療



「業務効率化」「診断・治療支援」「患者体験向上」の文書作成や創薬、患者対応

- ・医療文書の自動生成
- ・診療報酬算定の効率化
- ・問診/患者説明支援
- ・診断補助(画像診断で異常箇所検出+報告書の下書き生成)

IT・通信



「運用自動化」「セキュリティ強化」「顧客対応改善」の運用/障害対応効率化やドキュメント生成

- ・ネットワーク運用の自動化
- ・ログ解析・異常検知
- ・脅威インテリジェンス分析
- ・マニュアル、報告書の生成
- ・AIチャットボットによる顧客問い合わせサポート

エンターテインメント・メディア



「コンテンツ制作」「ファン体験」「業務効率化」の動画・音楽生成やパーソナライズ体験

- ・シナリオ/脚本の自動生成
- ・映像/記事/ニュース作成
- ・字幕/翻訳の自動化
- ・レコメンド強化(視聴履歴や嗜好に基づくコンテンツ提案)
- ・インタラクティブ体験

小売業



「業務効率化」「マーケティングとパーソナライズ」「顧客体験の向上」の販売力強化

- ・商品説明の自動生成
- ・在庫管理/需要予測
- ・FAQ/顧客対応の自動化
- ・広告作成(文章画像生成)
- ・レコメンド強化(購買履歴や嗜好に基づく商品提案)

行政機関・官公庁・教育



「業務効率化」「データ活用」「教育・住民サービス向上」の文書作成・問い合わせ対応・教材生成

- ・文書作成の自動化(報告書、企画書、広報資料)
- ・教材作成/校務効率化(成績処理、保護者連絡帳)
- ・統計データ解析
- ・AIチャットボットによる住民や保護者、学生からの問い合わせ対応

金融業（銀行・保険・証券）



「業務効率化」「リスク管理」「顧客体験向上」の内部業務自動化や顧客対応

- ・文書作成/処理の自動化
- ・投資アドバイスや商品提案
- ・不正取引検知
- ・規制対応の効率化(最新法令やガイドラインの自動チェック)

物流・輸送



「業務の効率化」「需要予測・在庫管理」「顧客対応の自動化」の配送計画や顧客対応

- ・配送ルート最適化
- ・倉庫業務の自動化
- ・AIチャットボットによる顧客対応
- ・ドキュメント処理の自動化
- ・需要予測(過去データと外部要因(天候/イベント)分析+配送需要予測)

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

2.4 AI導入の課題

AI時代を支えるために高度計算や冷却問題への対応が必要



生成AIの台頭により、あらゆる産業でAI活用が進むなか、膨大な演算処理とデータ管理を支え「AIデータセンター」の重要性が急速に高まっています。

「AIデータセンター」とはどのようなものなのか

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

2.4 AI導入の課題

AIモデルの学習や推論など、高度な演算処理に特化したデータセンター



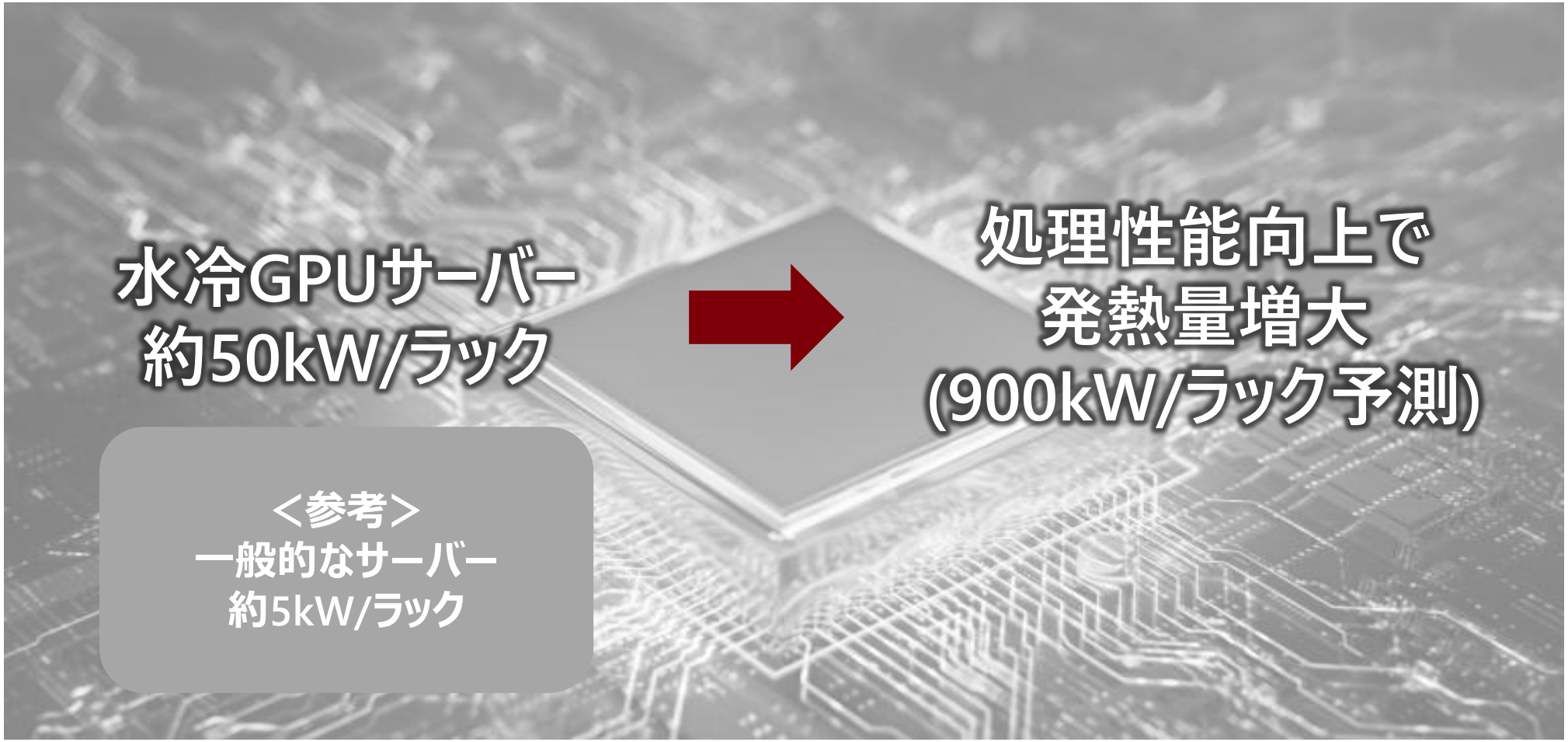
近年、生成AIや自然言語処理など、
AIに関連した大量かつ高速なデータ処理へのニーズが増加しています。
これに対応するため、AIデータセンターでは
・高密度サーバを動かす大容量の電力供給
・高負荷機器を冷やす冷却能力
を備えている必要があります。

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

2.4 AI導入の課題

サーバーの発熱量は年々増大、将来的にはラックあたり約900kWに達する



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

2.4 AI導入の課題

GPU基盤の導入検討では、IT機器選定とあわせて設備環境の確認が重要

	大規模データ処理		高速推論		マルチモーダル処理	
用途	✓生産・品質・設備データの統合分析 ✓ 生成AIモデルの学習・再学習 ✓ 設計・品質・設備データの横断活用		✓ 外観検査・異常検知 ✓ 設備故障の予兆の判定 ✓ 生産ライン制御支援		✓ 図面・画像・動画の統合解析 ✓ 作業手順書・保守記録のAI検索 ✓ 現場映像＋センサー情報の判断	
リソース要件	GPUラック数 想定電力	5（DGX H200クラス） ≒400kW （≒80kW/rack）	GPUラック数 想定電力	2・3（H100クラス） ≒150～200kW （≒50～70kW/rack）	GPUラック数 想定電力	4・5（H100/A100） ≒250～350kW （≒50～100kW/rack）
	ネットワーク 要件	高品質・高速通信 構内ネットワーク推奨	ネットワーク 要件	社内ネットワーク推奨	ネットワーク 要件	専用化した公衆網

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

Contents

3． 日立システムズ提供サービス

3.1 日立システムズの強み

3.2 生成AIサーバー選定/設計

3.3 生成AI基盤の設備環境

3.3.1 コンテナ型データセンター

3.3.2 既存設備増強向けファシリティ

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.1 日立システムズの強み

お客さまの事業構想に即した企画から設計、構築、運用・保守といった全プロセスをワンストップで提供可能

企画	設計	機器提供	構築	運用・保守
お客さまの「あるべきデータセンター」に向け、各種要件定義・事業予算向け概算を行います。	与条件に基づき適切なプランニング・製品選定・各種設計を行い、設計図書を作成します。	豊富な製品ラインアップを生かし、必要な各種機器・システムをスピーディーにご提供します。	豊富な構築実績を踏まえ、高品質なコンテナ型データセンターを構築します。	運用実績を踏まえ設備管理から警備まで、スムーズな業務をサポートいたします。
基本計画書	基本・実施設計	機器・システム提供	建設工事	運用・保守支援
• 建築/構造計画 • 設備/電気計画 • 概算コスト	• 基本設計 • 詳細設計 • 予算確定 • スケジュール	• サーバー/ストレージ • 電源設備 • 空調/冷却システム • 監視/管理システム	• マネジメント • 発注手続き • 調達支援 • 工程管理	• 定期点検 • 各種診断 • 修繕計画 • セキュリティ

さまざまなサービスを日立グループ各社と連携して提供することで、お客さまに包括的なソリューションを提供することが可能です。

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.2 生成AIサーバー選定/設計

サーバー調達、導入設計における技術的支援、保守対応など総合的なご提案

―日立システムズは、下記メーカーの一次代理店です。

HITACHI
日立システムズ

Hitachi iQ
NVIDIAのGPUサーバと日立高速ストレージのAIプラットフォーム

HITACHI
Hitachi Vantara



※日立製作所の一事業所として機能

HPE
日本ヒューレット・パッカード 合同会社

NVIDIAとの関係性
"NVIDIA AI Computing by HPE" を共同展開

国内展開
ProLiant / Cray シリーズで H100 / H200 / B200 / NVL 対応。最大8GPU 搭載モデルなど多数


HPE ComputeXD690

(HISYS)との関係性
PlatinumPartner

DELL Technologies
デル・テクノロジーズ 株式会社

NVIDIAとの関係性
Dell AI Factory with NVIDIAとして標準化構成を提供

国内展開
PowerEdge + NVIDIA GPU を組む「Dell AI Factory」、完全オンプレ型の生成 AI 環境（AI Code Assistant）を国内提供

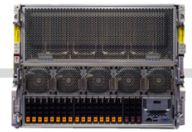

PowerEdge XE9780

(HISYS)との関係性
PlatinumPartner

SUPERMICRO
Super Micro Computer Inc.

NVIDIAとの関係性
次世代GPU対応のスピードと深い技術連携（Blackwell/Grace Blackwell）

国内展開
HGX B200/H100/H200 ベースの液冷・空冷構成を多数展開。Super Clusterなど高密度 AI システムが豊富


SYS-821GE-TNHR

(HISYS)との関係性
認定パートナー

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

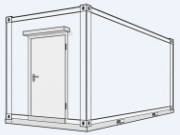
3.3 生成AI基盤の設備環境

お客さまの運用方針/既存環境/投資方針に応じた設備環境をご提案

今回のご紹介対象

拡張性
柔軟性重視

コスト
既存活用重視



コンテナ型データセンター
柔軟・拡張主導



ハウジング
堅ろうデータセンター環境の活用



設備増強
既存環境の有効活用



ホスティング
初期負担を抑え即利用

自社運用 ⟷ 外部活用

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

IT機器、電源、空調設備など、お客さまシステムの稼働維持に必要な設備をコンパクトに集約したデータセンター

コンテナ型データセンターの特長

迅速な導入が可能	・一般的なデータセンターと比べ、短期間・低コストでの構築が可能。
柔軟性	・設置場所や用途に応じて、構成を柔軟にカスタマイズ可能。
拡張性	・事業に合わせてコンテナを追加し、段階的に計算能力を増強可能。

ご利用想定シーン

- ✓ 個人情報や機密情報をクラウド(社外の環境)で管理したくない。
- ✓ 事業拡大のためにサーバーを増設したいが、設置場所がない。
- ✓ 早期にデータセンターを利用したい。
- ✓ 生成AI基盤を導入したいが、既存設備では冷却能力が足りない。
- ✓ マシン室の建て替え時、移転時、エリア増設の所有地有効活用。

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

「モジュラー型データセンター」とは？

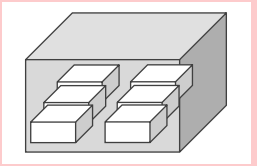
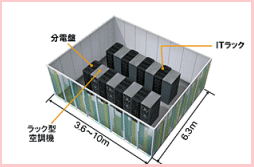
ITラック、電源、冷却などを、すぐに使用できる内蔵型ユニットに統合し、利用可能なスペースと電力で設置可能

「モジュラー型データセンター」の分類

- 輸送性や屋外設置に特化した「コンテナ型」
- 屋内でユニット化した「屋内モジュラー型」

「コンテナ型データセンター」の種別

- カスタマイズ可能な「フレキシブルデザインコンテナ」
- オールインワンコンテナ・スタンドアロンといった「可搬型コンテナ」

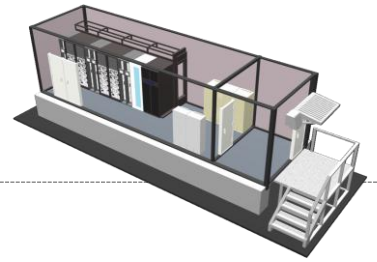
建屋カテゴリ	モジュラー型データセンター			
	コンテナ型データセンター		屋内モジュラー型データセンター	
	フレキシブルデザインコンテナ	可搬型コンテナ	データホール（コンテナ利用）	データホール（モジュール）
建屋イメージ				
	・カスタマイズに柔軟に対応し、 ・フレキシブルなデザインが可能	・コンテナ内にモジュールを配置 ・可搬性が高い	・コンテナ/プレハブを倉庫のような建屋や工場跡建屋に配置	・ITラック・分電盤・空調機をユニット化したモデル

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

コンテナ型データセンターの付帯設備をまとめて提供可能



ITコンテナ

データセンター基本構想/計画
データセンター設計/工事
空調環境コンサルティングサービス
計画・設計

無停電電源



電源保護

サーバーラック構築
サーバー・ストレージ製品



IT

フリーアクセスフロア
ラック免震システム



建築・BCP

サーバールーム向け
空調設備



空調

入退室管理システム
監視カメラシステム



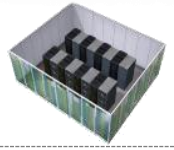
セキュリティ

ガス消火設備
超高感度煙感知システム



消火

AI空調自動制御



設備環境監視システム



設備運用サービス



監視・運用

構成規模や冷却方式に応じて、下記設備の検討が必要となります。

・受変電/発電設備





・熱源設備(チラー/冷却塔)

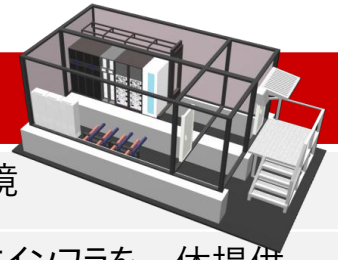


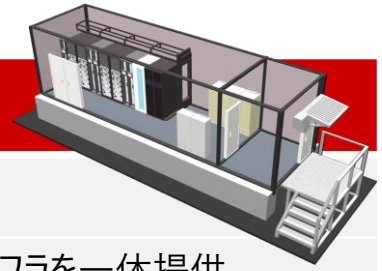
© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

高発熱GPUに合わせたコンテナ型データセンター
IT機器を含めた短納期パッケージ提供を実現





モデル名		水冷モデル(最短9カ月～)	空冷モデル(最短6カ月～)
用途		水冷GPUサーバー向け高密度環境	空冷GPUサーバー向け環境
特長		水冷GPUサーバーを含む高密度ITインフラを一体提供	空冷GPUサーバーを含むITインフラを一体提供
主な仕様		コンテナサイズ： W7639mm × D4644mm ×H4540mm (2連棟) ラック数：3ラック IT負荷：150kW	コンテナサイズ：40ft ラック数：5ラック IT負荷：100kW
主要設備		水冷空調設備、UPS、入退室管理、 監視カメラ、設備監視、消火器	空冷空調設備、UPS、入退室管理、監視カメラ、設備監視、消火器
価格	設備	400百万円	230百万円
	IT機器	2,100百万円	1,000百万円

※表示価格は税抜きです

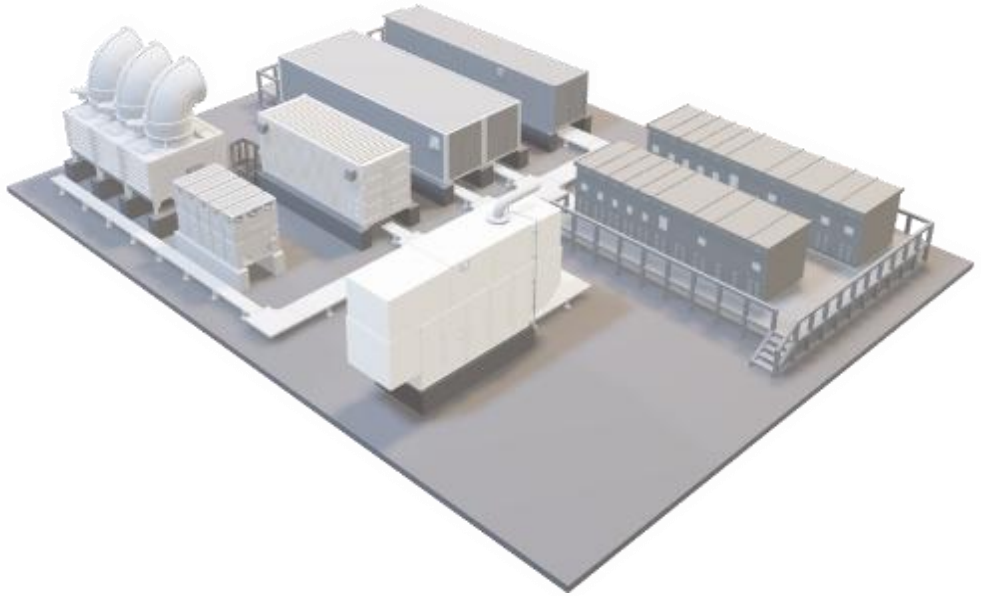
© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

生成AI基盤の本格導入に対応する大規模水冷サーバールームモデルを実現

モデル名		生成AIなど高負荷サーバールームモデル(14カ月～)
用途		生成AI利用などによる高負荷サーバーの稼働
特長		水冷によるダイレクトチップクーリングの冷却設備を提供
主な仕様		コンテナサイズ：40ft (2連棟) ラック数：20ラック IT負荷：800kW
主要設備		水冷空調設備、UPS、入退室管理、 監視カメラ、設備監視、消火器、
価格	設備	1000百万程度



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

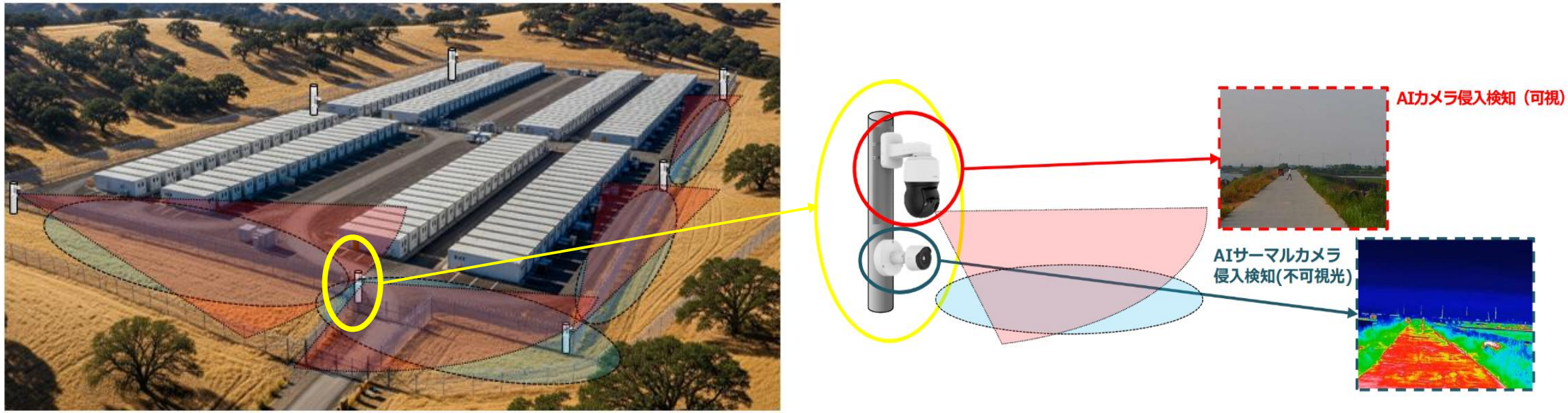
HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

AI機能搭載PTZカメラ/サーマルカメラで、早期に侵入者検知。

外構セキュリティ

降雪や野生生物の出現が多い地域ではサーマルカメラを可視光カメラと併用することで
高精度の侵入者検知を行います。



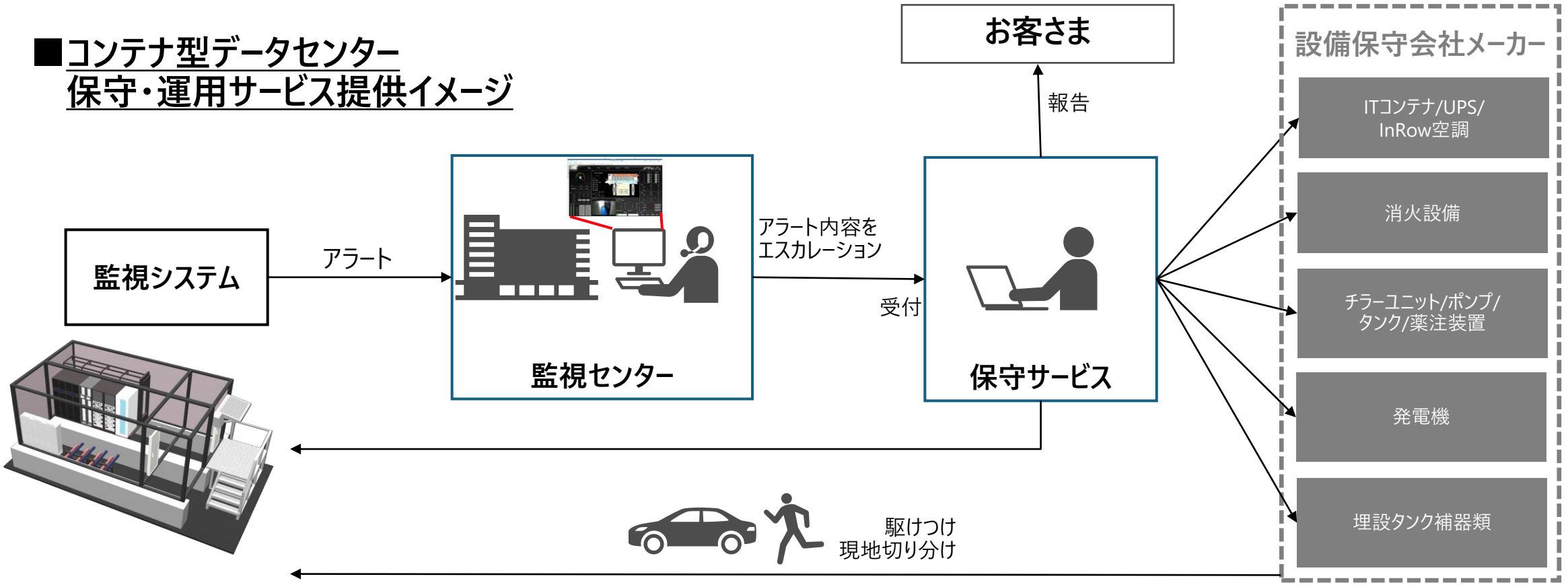
© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

コンテナ構築だけではなく、その後の保守・運用も含めてサービスをご提供

■コンテナ型データセンター
保守・運用サービス提供イメージ

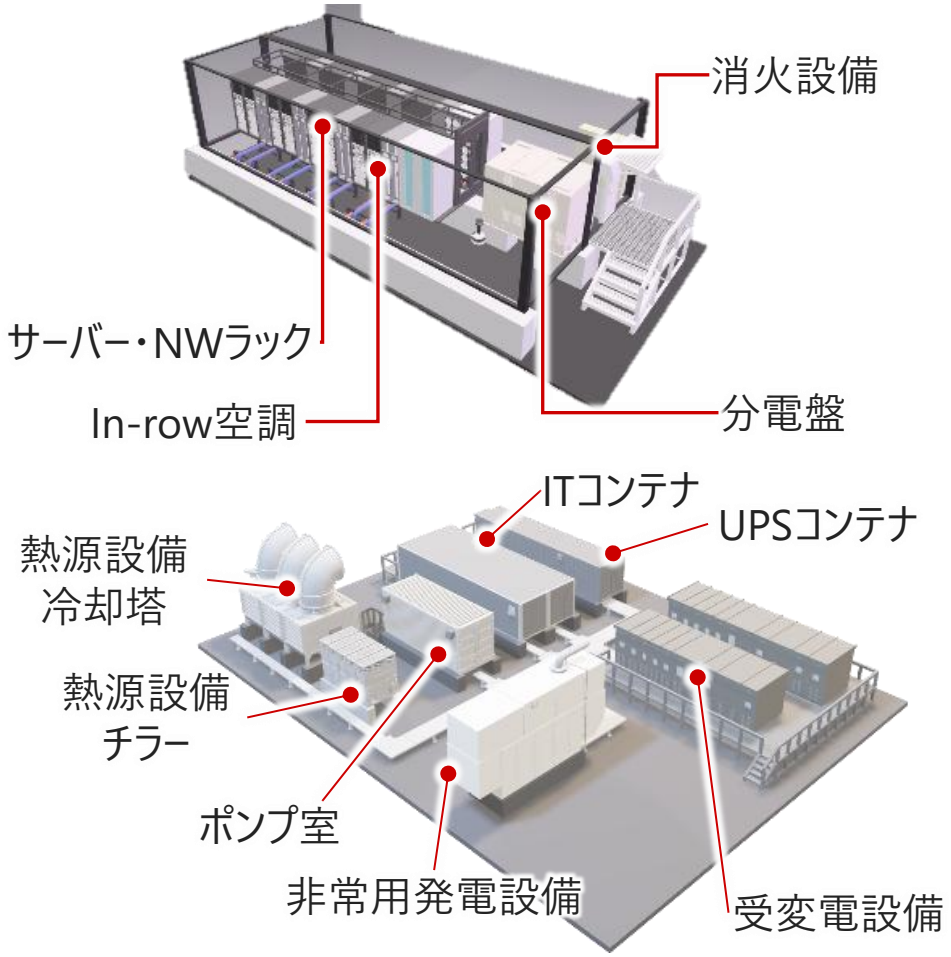


© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

監視対象設備機器および監視内容



	設備	主な監視内容
1	サーバー・NWラック	ラック内温度
2	In-Row空調	運転状態、温湿度
3	分電盤	電流、電圧、負荷
4	UPS	運転状態、バッテリー
5	除湿器	運転状態、湿度
6	消火設備	圧力、放出状態
7	熱源設備・冷却塔	水温、流量
8	熱源設備・チラー	運転状態、冷水温度、負荷
9	ポンプ室	運転状態、流量、圧力
10	非常用発電設備	運転状態、燃料残量、出力
11	受変電設備	電圧、電流、負荷、遮断状態

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

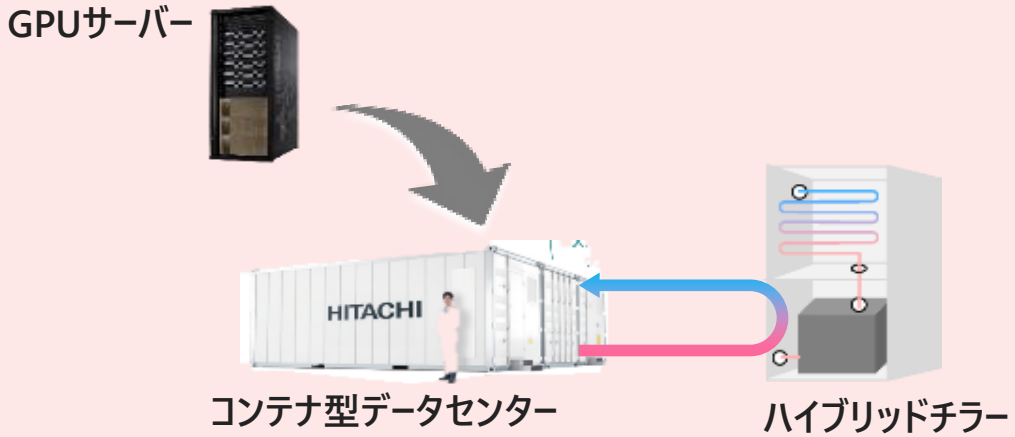
HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

【提案事例】水冷GPU対応コンテナ型データセンター導入

お客さま名	さくらインターネット様
業種	クラウドサービスプロバイダ
導入地域	北海道（降雪地域）
用途/目的	生成AIサービス事業の早期導入
導入内容	 YouTube動画URL https://www.youtube.com/watch?v=gF6GY2u_2VE

Point
①建屋型データセンターと比較し、コンテナ型データセンターにより短期間で導入
②北海道の立地環境を生かしたフリークーリングの実現し、PUE改善に寄与



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.1 コンテナ型データセンター

【提案事例】空冷GPUサーバー＋コンテナ型データセンター

お客さま名	某大手電機製造メーカー様
業種	製造メーカー
用途/目的	データセンターに関連する技術開発するため 生成AI基盤を用いての研究
納期	ご注文後 6カ月
導入内容	

Point
①GPUサーバーとコンテナ型データセンターセットで提供
②パッケージ化で短納期を実現

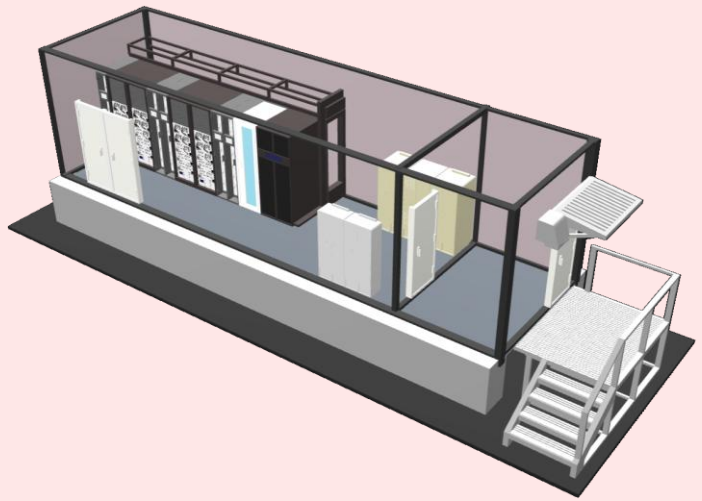
設備(コンテナ)

品名	品名	数量
コンテナ本体	40ftコンテナ	1台
ラック	サーバーラック× 4 NWラック×1	5台
電源設備	分電盤類	1台
	UPS	1台
空調設備	InRow空調(冷媒)	5台
	除湿器	1台

品名	品名	数量
セキュリティ	入退室管理システム	1式
	監視カメラ	3台
BMS	設備監視システム	1式
消火	消火器	1台

IT機器

設置場所	品名	数量
コンテナ	GPUサーバ DL380a (Blackwell6000×8枚)	8台
	NWスイッチ	1式
	Infiniバンドスイッチ	2台
共通	拠点間NWケーブル	1式

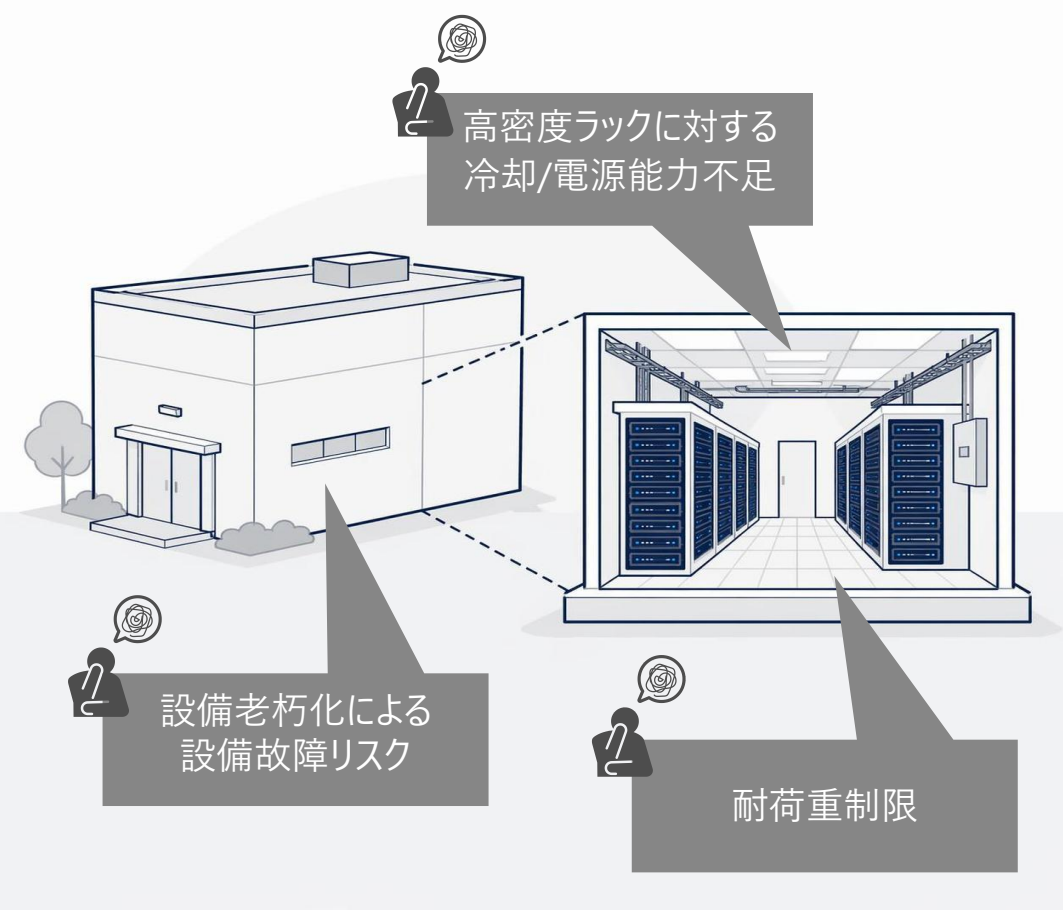


© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.2 既存設備増強向けファシリティ

既存設備を生かした、生成AI基盤の構築



■生成AI基盤構築に向けた提供サービス

01 現状アセスメント

電源/耐荷重/配管状況を整理し問題点の可視化

02 設備環境の増強計画

AI基盤導入規模に合わせ、レイアウトおよび設備計画を策定

03 データセンターリニューアル工事

電源、冷却、監視、UPSなどの各種設備工事を実施
GPUサーバー導入/環境構築

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

HITACHI

3.3.2 既存設備増強向けファシリティ

冷却・電源・IT機器をラック内に集約し、既存環境へ小規模IT環境を構築

マイクロデータセンター

マイクロデータセンターの特長

既存設備の有効活用	・既存のサーバールームや空きスペースに導入し、建て替えを伴わずIT基盤を強化
省スペース導入	・ラック単位/小規模構成で導入でき、限られたスペースでも必要な設備を集約
設備一体型の構成	・サーバーラック、電源、空調、監視などを用途に応じて組み合わせ運用環境を整備

ご利用想定シーン

✓ 既存サーバールームの電源・空調・スペースが不足している。
✓ 大規模なデータセンター新設ではなく、まずは小規模から設備増強したい。
✓ 利用場所の近くにIT基盤を設置したい。



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

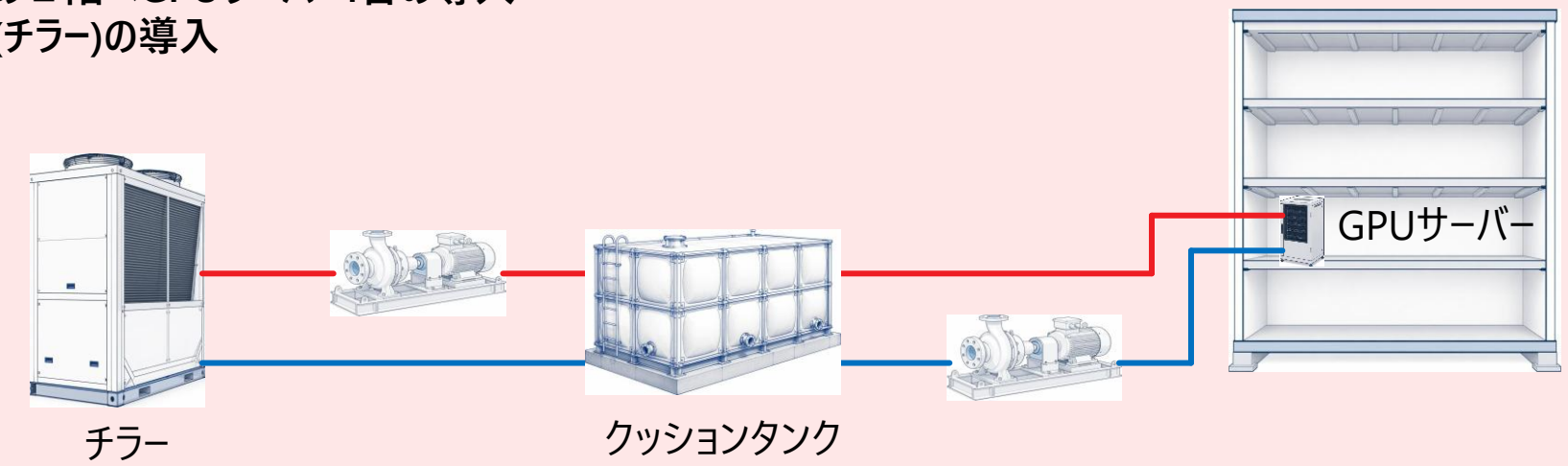
HITACHI

3.3.2 既存設備増強向けファシリティ

【提案事例】水冷GPUサーバー＋冷却設備

お客さま名	某製造業様
業種	製造業
導入地域	埼玉県某所
用途/目的	AI を活用した設備異常発見システム基盤。 研究向けシステムにおける異常発見・エラー救済の自動化
導入内容	・既存建屋の 2 階へGPUサーバー1台の導入 ・熱源設備(チラー)の導入

Point
①既存設備環境の活用
②GPUサーバー増設に伴う冷却能力の強化



© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

ご視聴ありがとうございました。

生成AIは「使う」から「持つ」時代へ
～「自社専用AI基盤（コンテナ型データセンター）」の作り方～

■お問い合わせ

データセンターソリューション拡販担当：　DC_Sales@hitachi-systems.com

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.


HITACHI

人材/資格

GX、ファシリティ

一級建築士	6名
第一種電気工事士	28名
1級電気工事施工管理技士	101名
1級管工事施工管理技士	38名
1級建築施工管理技士	25名
第二種電気主任技術者	6名
認定ファシリティマネージャ（CMF）	9名
HPE社Certified Data Center認定	21名
エネルギー管理士	5名
炭素会計アドバイザー資格 2級	29名
炭素会計アドバイザー資格 3級	237名
蓄電池設備整備資格者	12名

AI

Microsoft Azure 生成AI認定資格	1,081名
AWS・GCP 生成AI認定資格	638名
JDLA Deep Learning for ENGINEER	18名
JDLA Deep Learning for GENERAL	430名

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

人材/資格

許認可等

ISO9001
ISO14001
ISO22301※
ISO/IEC20000※
ISO/IEC27001※
ISO/IEC27017※
プライバシーマーク
建設業許可
電気工事業届出（一般用電気工作物）
電気工事業届出（自家用電気工作物）
第一種貨物利用運送事業登録
倉庫業登録
電気通信事業届出
労働者派遣事業許可
高度管理医療機器等販売許可
古物営業許可
産業廃棄物広域認定
高圧ガス販売事業届出
包括登録に係る無線局の開設届出
（陸上・日本周辺海域）

※ 認証の範囲につきましては、当社ホームページ（https://www.hitachi-systems.com/）をご覧ください

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

アウトソーシング/ホスティングサービス

ハイブリッドクラウド、生成AIニーズに対応するグリーンデータセンター

従来のハウジング、ホスティングだけでなく、クラウドとの接続や環境を問わない
リモートでの監視・運用サービスの提供を進めています。

今後は、社会的な要請が高いカーボンニュートラルや生成AIへの対応を
拡大していきます。



ビジネス基盤として活用する高効率・堅ろうなサービス

- For データセンター事業と連携した堅ろうかつ高効率なデータセンター
- SEやITベンダーと連携しSIから運用・保守までをワンストップで支援

ハイブリッドクラウド、マルチクラウド構想の中核拠点

- 多様なクラウドとの接続性を生かし、クラウドに載せられない、載せたくない機器の稼働場所
- 堅ろうなデータセンター、専門性が高い運用要員による高品質な監視・運用サービス

持続可能な社会の実現に応えるグリーンデータセンター

- 2024年度よりカーボンニュートラル電力の提供を開始
- 2027年カーボンニュートラル達成に向け再エネ、創エネを推進中

生成AIによるDXをITインフラの観点から加速

- 高集積、高電力な生成AI基盤を安定して導入可能な拠点
- 業務適用時に必要となる生成AIの管理、監視、運用サービスの提供

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

アウトソーシング/ホスティングサービス

OS・ツール類をセットアップ済みのGPUサーバーを提供する月額サービス

提供モデル：a24-2 2Uサーバー+H100×2



HA8000V DL380 Gen11



NVIDIA H100NVL



GPU搭載

サービスの特長

01 生成AIの推論環境用GPUサーバーをサービス提供

- ✓ 生成AI向けのハードウェア、OSを日立システムズが調達しサービス提供
- ✓ 固定資産の取得や管理の負担を軽減し、生成AIの企画や開発に専念可能

02 届いた日から開発を開始できるターンキー型サービス

- ✓ OS、ツール類は日立システムズのデータセンターでセットアップし、すぐに使える状態でお届け
- ✓ 外部接続に制限がある環境にもスムーズに導入可能

03 利用期間を選べる月額固定料金制

- ✓ 利用期間を選択でき、お客さまの予算や開発計画に沿ったお支払いが可能
- ✓ 月額固定料金なので費用のむらがなく、予算が立てやすい

04 日立システムズのデータセンター、生成AI関連サービスと併用可能

- ✓ 生成AIの導入支援や、基盤の監視・運用などのサービスと併用可能
- ✓ 設置場所は日立システムズデータセンター・お客さま先どちらも可能

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

3.3.3 アウトソーシング/ホスティングサービス

GPU数500以上、電力1MW超の生成AI基盤を横浜センタで運用中

事例のご紹介



学習環境：空冷

ラック　：22ラック
GPU　：NVIDIA H100
　　NVIDIA DGX H100
電力　：約500kW
冷却方式　：空冷空調＋キャッピング

MAX 23kW/ラック



学習環境：液冷

ラック　：19ラック
GPU　：NVIDIA H200
　　Supermicro HGX
電力　：約500kW
冷却方式　：空冷空調＋液冷（DLC方式）

MAX 60kW/ラック



推論環境

ラック　：10ラック
GPU　：NVIDIA H100
　　HVKK HA8000V DL380a
電力　：約100kW
冷却方式　：空冷空調

MAX 10kW/ラック

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.